JR鹿児島中央駅ビル増築着工式

22年春完成目指す

安全と早期完成を祈り杭打ちする橋口社長（右）ら＝鹿児島市の鹿児島中央駅新幹線口で

JR鹿児島中央駅の駅ビル増築工事着工式が23日、鹿児島市の現地であった。九州新幹線全線開業1年前の22年春の完成を目指し、出店が決まっている大手家電量販店「ビックカメラ」の店舗フロアなどを整備する。

増築計画では、新幹線口の駅構内を拡幅して混雑を解消し、陸の玄関口として整備。併せて、既存店舗の配置見直しを実施するとともに東西の動線を強化、同量販店の店舗面積約5500㎡など、延べ約1万3000㎡を増改築する。

建築概要の内訳は、西口（新幹線口）高架部分はRC一部S造2階建延べ約3400㎡、在来線上空部分はS造2階建約1200㎡、既存部分は約8400㎡となっている。

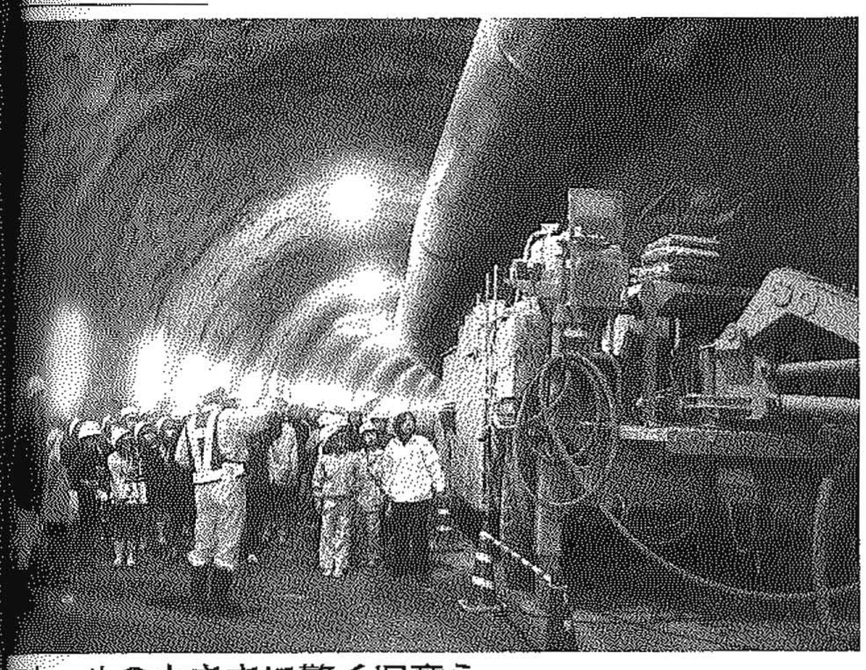
着工式では、同駅ビル増築他工事共同企業体を構成する鉄建建設㈱、九鉄工業㈱やジェイアール九州コンサルタンツ㈱（実施設計）の関係者、また、施主の石原進九州旅客鉄道㈱社長、伊藤祐一郎県知事ら約50人が出席。工事の安全と早期完成を祈って、鉄建建設の橋口誠之社長らが力強く杭打ちを行った。

現場見学会・自然観察会

トンネルに興味津々

北薩地域振興局建設部甑島支所

県北薩地域振興局建設部甑島支所（上谷博久支所長）は20日、薩摩川内市下甑町手打で地元の小・中学校8校の児童・生徒を対象に現場見学会および佐之浦川周辺の自然観察会を実施した。


スケールの大きさに驚く児童ら＝薩摩川内市の青瀬トンネル坑内で

今回招かれたのは海陽中、手打小、子岳小、青瀬小、西山小、長浜小の6校。

見学会・観察会は3校ごとに午前と午後行われ、トンネル見学会と自然観察会の二手に分かれた。

トンネル見学会では、坑口部で施工業者の南生建設・新留土木・上東建設JVの田中洋一現場代理人が概要を簡単に説明し、トンネル掘削先端までの約456mを歩きながら機械の説明や工事の方法などを説明。先端部では、「火薬はどれくらい使用するのか」「1日にどれくらい掘るのか」「掘り終わるのはいつか」などの素朴な質問に、田中現場代理人は丁寧に答えていた。

校の記念撮影を行い、最後にトンネルの最先端部で採取した手のひらサイズの掘削石にトンネル名や日付、坑口からの距離、岩種などが記入された「見学記念石」が配られると、大事そうに持ち帰っていた。

田中現場代理人は「なかなか工事途中でトンネル内に入る機会はない。良い記念になったのでは」と話していた。

また自然観察会では、児童らは双眼鏡で周辺の自然を観察したり、川に入って網やカゴなどを使って水生昆虫等を採取したりして、分からないことを田舎者りに聞いていた。

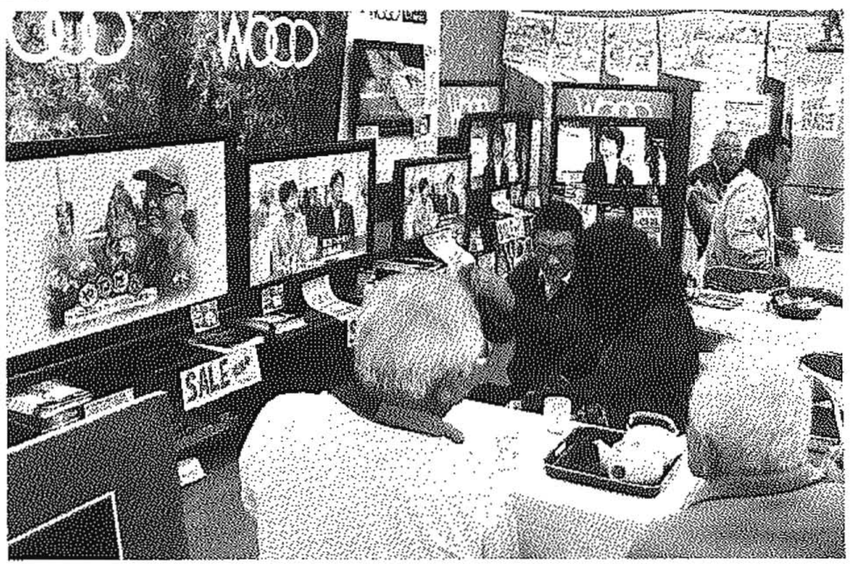
瑞穂商会「きになるフェア」

3日間とも大盛況

㈲瑞穂商会（新山淳二社長）は21日から3日間、日置市伊集院町のいっしゅん館で「きになる日立のきになるフェア」を開催。3日間とも日置市や近隣の鹿児島市郡山、松元などから多くの家族連れらが訪れた。

同フェアは年に3回開催。会場には、日立の主力商品・プラズマテレビをはじめエアコン、マッサージチェア、IHクッキングヒーターなどが所狭しと展示された。また家電以外にも土鍋風万能鍋「ほくほくなべ」の料理実演販売や骨盤の傾きを補正するゲルマバランサーバンドなどの実演販売もあった。

家電ならびに展示されている製品はすべて特価とあって大盛況。また予約の人にはズワイガニやエビなどのプレゼントのほか、来場者にはエコバッグが贈られるなど会場は多くの家族連れらでにぎわった。



話題のプラズマテレビなど人気の「きになるフェア」＝日置市のいっしゅん館で

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
【自動振替で】
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

地域貢献活動

～ 鹿屋・肝属造園建設業協会 ～

新年前にきれいに

鹿屋・肝属造園建設業協会（落司万寿男会長・㈲肝属造園）は22日、県大隅地域振興局敷地内で、年末を前に恒例となった草刈りや樹木剪定等の奉仕作業を行った＝写真＝。プロの技を発揮し、きれいになった垣根や樹木に関係者から感謝された。

新年を前にきれいにしよう－と、会員ら14人が参加。落司会長は「大勢の人に利用される庁舎です。けがのないように頑張ってほしい」と挨拶。作業手順を打ち合わせたあと早速、作業を開始した。

作業は、トリマーや剪定道具を使い、庁舎入り口のツツジや中庭のソテツ、植え込みの剪定のほか、高所作業車で高木枝の伐採や駐車場周辺の草払い等を手際よく行った。刈り取った草や木々は再利用のため持ち帰り、腐葉土等に利用した。

参加業者は次の通り。

肝属造園　松原緑地建設　アイコー　中村植木　田辺造園　倉岡建設

～ 甲突川いぶきの会 ～

気分よく散策して

日ごろから地域の環境美化に取り組む「甲突川いぶきの会」（谷山拓也会長）が21日、鹿児島市の甲突川右岸河川敷で7月の活動に引き続き、今回も清掃ボランティア活動を行った＝写真＝。

同日は会員企業から26人が参加。雨の中、鹿児島アリーナ前の草牟田橋から下流の鶴尾橋までの区間で、河川敷に繁茂するススキなどの草払いやごみ拾いの清掃活動に取り組んだ。また道路沿いの桜並木には、簡易な花壇を設け堆肥を施した後、心を和ませる季節の花々を植栽した。

作業を指揮した谷山会長は「甲突川は市民の憩いの場でもあり、散歩など多くの人が河川敷を利用している。気分よく散策してもらえれば」と期待を込めた。

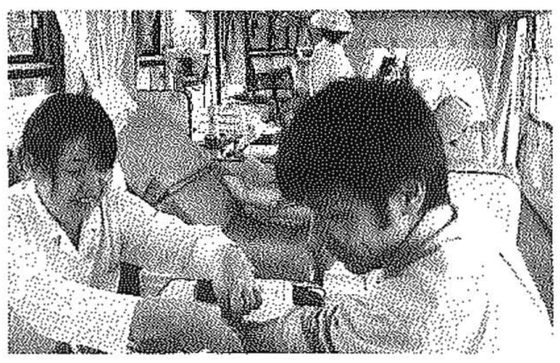
参加業者は次の通り。

有馬造園　内造園　木原造園土木　光林緑化　郡山造園　谷山グリーンサービス　谷吉造園土木　山下造園設計　横瀬造園土木

～ エビハラ ～

創立を記念し献血

㈱エビハラ（海老原利之社長）は25日、鹿児島市の同社駐車場で恒例の献血を実施。社員をはじめ同社安全協力会会員、近隣事業所などが冬場の血液不足に協力した＝写真＝。



この日は同社の創立記念日で、少しでも社会に貢献したいとの思いで毎年実施している。受付では一人ひとり問診カードに健康状態を記入。血圧や血液比重などを検査し、県赤十字血液センターの移動採血車で献血に応じていた。

海老原社長は「手術に備え自らの血液を貯めておくことの見直しが進んでいるが、事故や急病など緊急時の輸血は待ったなし」と日ごろからの奉仕の心掛けを強調していた。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道編集部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。

E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp